

初等作文教授書

上

124
3
6.1

館	室四第			東
函				所
架	二册	四架	四函	七
號	号			

B 29

3 485



柳塘小川伊典編輯

初等作文教授書

版權所有 松村文海堂

例言

此編ハ文部省教則綱領ニ基キ作文ノ次序ヲ
初等中等高等ノ三科ニ分チ各其作例ヲ載セ
以テ教師生徒ノ便用ニ供ス

初等科ハ單語單句ノ假名綴ヨリ口上書類及
日用書類ニ至ル

中等科ハ諸證書公用文ニ始リ稍高尚ナル日
用書類及紀事文ニ終ル

一高等科ハ日用書牘ヨリ志傳記事ニ至リ猶其
末ニ論說序跋等ノ諸體ヲ載セ他日中學科ヲ
修ルノ一助ニ供ス

一片假名文ハ其原漢文ニ出ルヲ以テ亦夕法ヲ
漢文ニ求メザルヲ得ズ故ニ中等科第十章ニ
於テ先ヅ句法章法ヨリ抑揚頓挫伏筆照應等
ノ諸法ヲ粗領會セシメ尋テ作例中ニ就テ其
活用ヲ證明ス

一從來用ユル所ノ填字法ノ如キハ作文ノ初步
ニ於テ頗ル簡便ニ似タリト雖モ遂ニ其羈絆
ニ拘泥シテ大ニ文章ノ活機ヲ局促スルノ弊
ヲ免レズ故ニ今斷シテ此ノ法ヲ用牛ズ

總目錄

初等科

第一章

單語綴字

第二章

單句綴字

第三章

接續文法

第四章

口上書類

第五章

日用書類

中等科

第六章

證書類

第七章

願書類

第八章

屆書類

第九章

日用書牘

第十章

文法

第十一章

紀事

高等科

第十二章

日用書牘

第十三章

記

第十四章

志傳

第十五章

論

第十六章

說

第十七章

序

第十八章

題後
書讀

第十九章

文

第二十章

碑銘

總目錄了

初等作文教授書目錄

卷之上

第一章

單語綴字

第二章

單句綴字

第三章

接續文法

卷之下

第四章

口上書類

第五章

日用書類

- ① 年賀の文
- ② 右小答ふる文
- ③ 看梅誘引の文
- ④ 右小答ふる文
- ⑤ 入學を賀ふる文
- ⑥ 右小答ふる文

- ⑦ 觀劇を断る文
- ⑧ 店開吹聴の文
- ⑨ 右小答ふる文
- ⑩ 新聞遞送を頼む文
- ⑪ 紀元節官獎社衆詣を約する文
- ⑫ 右小答ふる文
- ⑬ 相庭聞合せの文
- ⑭ 定期試験卒業を賀ふる文
- ⑮ 右小答ふる文
- ⑯ 久く遇ふる人小贈る文
- ⑰ 摘草小人を誘ふ文
- ⑱ 世話する人小謝ふる文
- ⑲ 右小答ふる文
- ⑳ 看櫻を誘ふ文
- ㉑ 右小答ふる文

- | | |
|---------------|--------------|
| ② 新婚を賀する文 | ④ 右小答する文 |
| ③ 雨中詩會を催する文 | ⑤ 右小答する文 |
| ⑥ 神武祭小野遊を促する文 | ⑦ 頼事催促の文 |
| ⑧ 右小答する文 | ⑨ 牽牛花苗を請ふ文 |
| ⑩ 移徙を賀する文 | ⑪ 右小答する文 |
| ⑫ 書畫展覽會通知の文 | ⑬ 博覧會縱覧を約する文 |
| ⑭ 右小答する文 | ⑮ 上梁を賀する文 |
| ⑯ 右小答する文 | ⑰ 新聞を借用する文 |

- | | |
|-------------|--------------|
| ⑱ 新茶を分配する文 | ⑲ 右小答する文 |
| ⑳ 梅雨小友を招く文 | ㉑ 右小答する文 |
| ㉒ 枇杷を贈る文 | ㉓ 右小答する文 |
| ㉔ 不參断りの文 | ㉕ 書籍代價を問合する文 |
| ㉖ 右小答する文 | ㉗ 螢狩誘ひの文 |
| ㉘ 右小答する文 | ㉙ 醫師小診察を乞ふ文 |
| ㉚ 誕生小同盟を招く文 | ㉛ 右小答する文 |
| ㉜ 暑中見舞の文 | ㉝ 右小答する文 |

- | | |
|------------|---------------|
| ⑤ 祭禮小人を招く文 | ⑥ 右小答ふる文 |
| ⑦ 任官を賀す文 | ⑧ 右小答ふる文 |
| ⑨ 昇級を賀す文 | ⑩ 右小答ふる文 |
| ⑪ 納涼誘引の文 | ⑫ 右小答ふる文 |
| ⑬ 角力見物小誘ふ文 | ⑭ 病氣見舞の文 |
| ⑮ 右小答ふる文 | ⑯ 客を邀へて蓮と賞する文 |
| ⑰ 右小答ふる文 | ⑱ 温泉同行を約する文 |
| ⑲ 右小答ふる文 | ⑳ 胡子花と乞ふ文 |

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 右小答ふる文 | ② 来訪を謝する文 |
| ③ 未識の人小贈る文 | ④ 右小答ふる文 |
| ⑤ 提灯を返る文 | ⑥ 中秋舟行を勧むる文 |
| ⑦ 右小答ふる文 | ⑧ 貸金催促の文 |
| ⑨ 人小驢する文 | ⑩ 右小答ふる文 |
| ⑪ 祖先祭目人を招く文 | ⑫ 出産を賀する文 |
| ⑬ 右小答ふる文 | ⑭ 天長節菊見を約する文 |
| ⑮ 茸狩案内の文 | ⑯ 右小答ふる文 |

- | | |
|-----------|----------|
| ㊦ 夜學を約する文 | ㊦ 右ふ答ふる文 |
| ㊦ 品物借用の文 | ㊦ 右ふ答ふる文 |
| ㊦ 近火見舞の文 | ㊦ 右ふ答ふる文 |
| ㊦ 金子借用の文 | ㊦ 右ふ答ふる文 |
| ㊦ 寒氣見舞の文 | ㊦ 右ふ答ふる文 |
| ㊦ 觀雪誘ひの文 | ㊦ 浴物催促の文 |
| ㊦ 歳暮の文 | ㊦ 右ふ答ふる文 |
- 目録了

小初等科作文教授法卷上

第一章

單語綴字

絲	イト	いと	犬	イヌ	いぬ
井	井ド	おど	權	カイ	かい
貝	カヒ	かし	蝦	エビ	えび
枝	エダ	えだ	笛	フエ	ふえ

栗	鈴	虹	魚	斧	鍬	家	苗
クリ	スズ	ニジ	ウヲ	ヲノ	クハ	イヘ	ナヘ
くり	すず	にと	うを	のを	くは	いへ	なへ

梨	桃	鰻	顔	竿	帶	杖	稗
ナシ	モ、	アヂ	カホ	サヲ	オビ	ツエ	ヒエ
なし	も、	あぢ	かほ	さを	おび	つゑ	ひゑ

桶	壺	皿	膳	樽	釜	芋	柳
ヲケ	ツボ	サラ	ゼン	タル	カマ	イモ	カキ
をけ	つぼ	さら	ぜん	たる	かま	いも	かき

籃	箱	鉢	椀	枡	鍋	葱	稻
カゴ	ハコ	ハチ	ワン	マス	ナベ	子ギ	イ子
かご	はこ	はち	わん	ます	なべ	ねぎ	いね

蜂	足	指	鼻	靴	琴	墨	本
ハチ	アシ	ユビ	ハナ	クツ	コト	スミ	ホン
はち	あし	ゆび	はな	くつ	こと	すみ	ほん
蝶	蟬	爪	口	耳	笠	紙	華
テフ	セミ	ツメ	クチ	ミミ	カサ	カミ	フデ
てふ	せみ	つめ	くち	みみ	かさ	かみ	ふで

蛇	龜	竹	萩	鶴	鷹	鳩	牛
ヘビ	カメ	タケ	ハギ	ツル	タカ	ハト	ウシ
へび	かめ	たけ	はぎ	つる	たか	はと	うし
蟹	松	梅	菊	雁	鳶	馬	猫
カニ	マツ	ウメ	キク	ガン	トビ	ウマ	子猫
かに	まつ	うめ	きく	がん	とび	うま	ねこ

猿	サル	さる
鹿	シカ	しか
鯉	コヒ	こひ
繪馬	エマ	えま
枇杷	ビハ	びは
椅子	イス	いす
蜘蛛	クモ	くも
錨	イカリ	いかり
熊	クマ	くま
鯛	タヒ	たひ
鮒	フナ	ふな
鴛鴦	ヲシ	をし
茄子	ナス	なす
足袋	タビ	たび
百合	ユリ	ゆり
豚	イノ	いの

鹽	タラヒ	たらひ
榎	エノキ	えのき
巳	トモエ	ともえ
轡	クツワ	くつわ
瓦	カハラ	かはら
雀	スズメ	すずめ
鶉	ウヅラ	うづら
草	キノコ	きのこ
篩	フルヒ	ふるひ
鼎	カナヘ	かなへ
机	ツクエ	つくえ
鯛	イワシ	いわし
櫛	カシハ	かしは
鼠	子ズミ	ねずみ
鯰	ナマヅ	なまづ
竈	カマド	かまど

鰻	狐	燕	柳	椿	頭	鏡	鍾
ウナギ	キツ子	ツバメ	ヤナギ	ツバキ	カシラ	カミ	コップ
うなぎ	きつね	つばめ	やなぎ	つばき	かしら	かみ	こつぷ
鰍	狸	兎	烏	櫻	蛙	袴	硯
ウナギ	タヌキ	ウサギ	カラス	サクラ	カヘル	ハカマ	スバリ
おろり	たぬき	うさぎ	からす	さくら	かへる	はかま	すばり

鳥居	芭蕉	林檎	柘榴	胡瓜	土瓶	徳利
トリ	バセヲ	リンゴ	ザクロ	キウリ	ドビン	トクリ
とり	ばせを	りんご	ざくろ	きうり	どびん	とくり
繪具	紅葉	蜜柑	葡萄	午夢	火鉢	手桶
エノグ	もみぢ	ミカン	ブドウ	ゴウ	ヒバチ	テヲケ
えのぐ	もみぢ	みかん	ぶどう	ごう	ひばち	てをけ

釣瓶	ツルベ	つるべ
剪刀	ハサミ	はさみ
煙管	キセル	きせる
時計	トケイ	とけい
着物	キモノ	きもの
浴衣	ユカタ	ゆかた
頭巾	ツキン	づきん
牡丹	ボタン	ぼたん

簞笥	タンス	たんす
太鼓	タイコ	たいこ
團扇	ウチハ	うちば
雪踏	セツタ	せつた
羽織	ハオリ	はおり
上着	ウハギ	うはぎ
蜻蛉	トンボ	とんぼ
大角豆	サダゲ	さだげ

狼	オホカミ	おほかみ
薑	シヤガ	しやが
傘	カサ	かさ
鶯	ウグヒス	うぐひす
織物	オリモノ	おりもの
酸漿	ホトツキ	ほとつき
南瓜	カボチャ	かぼちゃ
蘿蔔	ダイコン	だいこん

筍	タケノコ	たけのこ
杯	サカヅキ	さかづき
鶏	ニトリ	にトリ
猪	イノシシ	いのしし
折本	オリボン	おりほん
水吞	ミヅノミ	みづのみ
西瓜	スイカ	すいか
蓮根	レンコン	れんこん

茶釜	チャガマ	ちやがま	鐵瓶	テツピン	てつびん
茶碗	チャワン	ちやわん	檜杓	ヒシヤク	ひーやく
行燈	アンドウ	あんどう	箕盤	ソロバン	そろばん
磁石	ジシヤク	トーやく	縹絆	ジユバン	どよばん
手拭	テヌグヒ	てぬぐひ	手袋	テブクロ	てぶくろ
股引	モ、ヒキ	もひき	山吹	ヤマブキ	やまぶき
桔梗	キ、ヤウ	きやう	南天	ナンテン	なんてん
水仙	スエセン	すゐせん	金魚	キンギョ	きんぎょ

第二章

單句綴字

紫陽花	アサザ	あざさ	牽牛花	アサガホ	あさがほ
胡蘿蔔	ニンジン	にんじん	短脰服	チヨウキ	ちようき
燭臺	シヨクダイ	しよくだい	提灯	チャウシ	ちやうし
燕子花	カキバタ	かきばた	寒暖計	カダゲキ	かだげき
①竈	ハタチ	燃	①竈		
クトコロ			カマドハ	ヒヲ	タクトコロ

かまどは。ひを。たくところ。

②釜ハ飯ヲ炊

②釜

グモノ

カマハ。メシヲ。カシグモノ。

かまは。めーを。かーぐもの。

③鍋ハ食物ヲ

③鍋

煮ル

ナベハ。シヨクモツヲ。ニル。

なべは。しよくもつを。にる。

④茶釜ハ茶ヲ

④茶釜

沸カス

チヤガマハ。チヤヲ。ワカス。

ちやがまは。ちやを。わかす。

⑤鐵瓶ハ湯ヲ

⑤鐵瓶

沸カス

テツビンハ。エヲ。ワカス。

てつびんは。えを。わかす。

⑥土瓶ハ湯茶

⑥土瓶

ヲ沸カス

ドビンハ。エチヤヲ。ワカス。

どびんは。えちやを。わかす。

⑦ 枅ハ物ヲ量

⑦ 枅

ル器

マスハ。モノヲ。ハカル。ウツハ。
ますは。ものを。はかる。うつは。

⑧ 膳ハ食物ヲ

⑧ 膳

載セル臺

ゼンハ。シヨクセツヲ。ノセルダイ。
ぜんは。しよくせつを。のせるだい。

⑨ 椀ハ汁ヲ盛

⑨ 椀

ル器

ワンハ。シルヲ。モル。ウツハ。

⑩ 茶碗ハ飯ヲ

⑩ 茶碗

盛ル器

わんは。いさを。もる。うつは。

チャワンハ。メシヲ。モル。ウツハ。
ちやわんは。めしを。もる。うつは。

⑪ 德利ハ飲物

⑪ 德利

ヲ入レル具ナ

リ

トクリハ。ノミモノヲ。イレル。グナリ。
とくりは。のみものを。いれる。ぐなり。

⑫ 鍾ハ酒又水

⑫ 鍾

イノチオ
ヲ吞ム器

① 鶴ハ白キ鳥

ニテ足長シ

② 雁ハ水鳥ニ

テ春來リ秋歸

ル

コツプハ。サケマタミツヲ。ノム。ウツワ。
こつぽは。さけまたみづを。のむ。うつわ

③ 鶴

ツルハ。シロキ。トリニテ。アシナガシ。
つるは。しろき。とりにて。あしながし。

④ 雁

ガンハ。ミツトリニテ。ハルキタリ。アキカヘル。
がんは。みつとりにて。はるきたち。あきかへる。

⑤ 鷹ハ猛キ鳥

ニテ小鳥ヲ食

フ

⑥ 鷯ハ鷹ニ似

テ小サキ鳥ナ

リ

⑦ 鳥ハ黒キ鳥

ニテ多ク人里

⑧ 鷹

タカハ。タケキ。トリニテ。コトリヲ。クラフ。
たかは。たけき。とりにて。ことりを。くらふ。

⑨ 鷯

トビハ。タカニ。ニテ。チイサキ。トリナリ。
とびは。たかに。にて。ちいさき。とりなり。

⑩ 鳥

カラスハ。クロキ。トリニテ。オホク。ヒトサトニスム。

ニ棲ム

からすは。うさぎ。うさぎ。に。た。は。い。に。す。む。

⑤猫ハ小サキ

⑥猫

獸ニテ鼠ヲ取

ル

子。コ。ハ。チ。イ。サ。キ。ケ。モ。ニ。テ。子。ズ。ミ。ヲ。ト。ル。
あ。こ。は。う。さ。ぎ。う。さ。ぎ。に。て。お。ず。み。を。お。も。う。

⑦猿ハ人ニ似

⑧猿

タル獸ニテ山

中ニ棲ム

サル。ベ。ト。ニ。タル。ケ。モ。ニ。テ。サン。チ。ウ。ニ。スム。
さ。る。は。い。に。た。る。け。も。に。て。さん。ち。う。に。す。む。

⑨猪ハ猛キ獸

⑩猪

ニテ常ニ奥山

ニ棲ム

イ。ノ。シ。ハ。タ。ケ。キ。ケ。モ。ニ。テ。子。ニ。オ。ク。ヤ。マ。ニ。スム。
いの。し。は。た。け。き。け。も。に。て。つ。ね。に。お。く。や。ま。に。す。む。

⑪鯛ハ海魚ニ

⑫鯛

ニ味ト美ナリ

タ。ヒ。ハ。カ。イ。ギ。ヨ。ニ。テ。ア。チ。ワ。ヒ。ビ。ナリ。

⑬鯉ハ沼又川

⑭鯉

ニ生スル魚ナ

コ。ヒ。ハ。ヌ。マ。マ。タ。カ。ハ。ニ。シ。ヤ。ウ。ズ。ル。ウ。ヲ。ナリ。

リ

こ。ひ。は。ぬ。ま。また。か。は。に。や。う。ず。る。を。な。り。

⑤蟬ハ夏高キ

⑤蟬

樹ニ鳴ク蟲ナ

セミハ。ナウ。タカキ。キニ。ナク。ムシナリ。
セミハ。なつたき。さ。に。なく。むしなり。

リ

⑤蜂ハ尾ニ針

⑤蜂

アリテ人ヲ刺

ハチハ。ヲニ。ハリ。アリテ。ヒトヲ。サス。

ス

はち。は。を。に。はり。ありて。ひと。を。さす。

⑤蝶ハ花ノ香

⑤蝶

ヒヲ趁フテ飛

テフ。ハナノ。ニ。ホヒヲ。ヲフテ。トビ。タムル。

ビ戯ル

てふ。は。は。な。の。に。ほ。ひ。を。を。ふ。て。び。た。は。む。

⑤蜘蛛ハ絲ヲ

⑤蜘蛛

吐キテ網ヲ結

クモ。ハイ。トヲ。ハキテ。アミヲ。ムスブ。

ブ

くも。は。い。と。を。は。き。て。あ。み。を。む。す。ぶ。

⑤蛇ハ長キ蟲

⑤蛇

ニテ草原ニ住

ヘビ。ハ。ナガキ。ムシニ。テ。クサハラニ。スム。

ム

へび。は。ながき。むし。に。て。くさ。は。ら。に。す。む。

⑤蛙ハ田又池

⑤蛙

下ノ文受書

卷一

ニ住ム蟲ナリ

カヘルハ。タ。マタイケニ。スム。ムシナリ。
かへるは。た。またいけに。すむむしなり。

⑤蟹ハ足多ク

⑤蟹

シテ横ニ行ク

カニハ。アシオホクシテ。ヨコニ。ユク。ムシナリ。

蟲ナリ

かには。あ。れほくして。よこに。ゆく。むしなり。

⑤龜ハ堅キ甲

⑤龜

アリテ水中ニ

カメハ。カタキ。カフアリテ。スナチウニ。スム。

住ム

かめは。かたき。かありて。すぬちうに。すむ。

⑤顔ハ人ノ上

⑤顔

部ニテ目鼻口

カホハ。ヒトノ。ジヤウブニ。テメハ。ナクチ。アリ、

アリ

かほは。ひとの。ぢやうぶに。てめは。なくち。あり。

⑤目ハ顔ノ中

⑤目

ニ有テ物ヲ見

メハ。カホノ。ナカニ。アリテ。モノヲ。ミル。

ル

めは。かほの。なかに。ありて。ものを。みる。

⑤耳ハ顔ノ兩

⑤耳

脇ニ有テ聲ヲ

ミハ。カホ。リヤウキニ。アリテ。コエヲ。キク。

聞ク

みは。かほのりやう。わきにありて。あをさへく。

⑤鼻ノ顔ノ中

⑤鼻

ニ有テ香ヒヲ

ハナハ。カホノナカニアリテ。ニホヒヲ。カグ。

嗅グ

はなは。かほのなかにありて。にほひを。かぐ。

⑤口ハ言ヲ發

⑤口

シ又物ヲ食ス

クチハ。コトヲ。ハツシ。タモヲ。シヨクスルヲ。ツカサドル。

ルヲ掌ル

くちは。こを。はつて。もたものを。よく。つかさどる。

⑤手ハ枝部ニ

⑤手

テ萬ノ業ヲ掌

テハ。シブニテ。ヨロツノゲヲ。ツカサドル

ル

ては。しぶにて。よろづの。げを。つかさどる。

⑤足ハ下部ニ

⑤足

有テ歩行ヲ掌

アシハ。カブニアリテ。ホカウヲ。ツカサドル。

ル

あしは。かぶにありて。ほかうを。つかさどる。

⑤爪ハ手足ノ

⑤爪

端ニ有テ物ヲ

ツメハ。テアシノ。ハシニアリテ。モノヲ。カク。

爬ク

つめは。てあしのはしに。ありて。ものを。かく。

⑤ 本ハ紙ニテ

製シ事ヲ記ス

物ナリ

⑥ 筆ハ獸ノ毛

ヲ結ビテ製シ

字ヲ寫スニ用ユ

⑦ 墨ハ油烟ニ

膠ヲ合セテ製

⑤ 本

ホシハカミニテセイシコトヲシルスモノナリ。

ほんはかみてせしこをうるすものなり。

⑥ 筆

フデハケチノケムスニセイシジヨウツスニモチユ

ふではけものけをむすびてせしじをうつすにけ。

⑦ 墨

スミハユニシニカハヲアハセテセイシルモノナリ。

スルモノナリ

⑧ 紙ハ多ク楮

構等ノ皮ニテ

製ス

⑨ 硯ハ石ニテ

造リ墨ヲ磨ル

器ナリ

⑩ 簞笥ハ木ニ

すみはゆいにかはをあわせてせしめるものなり。

⑧ 紙

カミハオホクカウヅカヂトウノカハニテセイス。

かみはねほくかうづかぢとうのかはにてせし。

⑨ 硯

ズリハイシニテツクリスミヲスルウツハナリ。

ずりはいしにてつくりすみをするうつはなり。

⑩ 簞笥

テ造リ衣裳ヲ
入ル、器

罍 椅子ハ木ト

籐ニテ造リ腰

ヲ掛ルニ用ユ

罍 櫂ハ木ニテ

作り舟ヲ動ス

ニ用ユ

タンスハ。キニテ。ツクリ。イシヤウ。イル。ウハ。
たんすは。きにて。つくり。いしやう。をいる。うは。

罍 椅子

イスハ。キト。トウニテ。ツクリ。コシヲ。カクル。モチユ。
いすは。きと。とうにて。つくり。こしを。かぐる。もちゆ。

罍 櫂

カイハ。キニテ。ツクリ。子ヲ。ウゴカス。モチユ。
かいハ。きに。て。つくり。こを。うごかす。もちゆ。

罍 錨ハ鐵ニテ

作り船ヲ止ル

具ナリ

罍 鋤ハ木ト鐵

ニテ造リ田畠

ヲ耕ス具ナリ

罍 轡ハ鐵ニテ

造リ馬ノ口ニ

罍 錨

イカリハ。テツニテ。ツクリ。フ子ヲ。トル。ダナリ。
いかりハ。てつにて。つくり。ぶこを。とる。なり。

罍 鋤

クハ。キト。テツニテ。ツクリ。タハタヲ。カヘ。ス。ダナリ。
くハ。きと。てつにて。つくり。たはたを。かへす。なり。

罍 轡

クハハ。テツニテ。ツクリ。ウマノ。クチニ。ハル。モノナリ。

嵌ル物ナリ

くははてにて。い。い。の。ち。は。は。い。の。り。

⑤竿ハ竹ノ幹

⑥竿

ニテ造リ魚ヲ

サハ。タケ。ミ。キ。ニ。テ。ツ。リ。ウ。ヲ。ツ。ル。グ。ナリ

釣ル具ナリ

さ。は。た。け。み。き。に。て。つ。り。う。を。と。つ。る。なり

第三章

接續文

①絲イト。カヒコ又ハム。マタ。

①絲

綿ワタ。セイ製シ。ラ。ヘ

絲ハ。蠶又ハ綿ニテ。製スルモノナリ。

②犬家イヌ。イ。ヘ。カ。フ。ヨ。ル。畜夜

②犬

守マモル。ケモノ。スル獸

犬ハ家ニ畜ハレテ。夜ヲ守ル獸ナリ。

③錨イカリ。テツ。シ。リ。フ。ネ。鐵造テ。コ。シ。ネ。ラフ。ヘ。船。

③錨

泊ト。カ。ノ。モノ。ユ。用ツ。カ。具グ。ウ。

錨ハ。鐵ニテ造リ。船ヲ泊ルニ用ユル具ナリ。

④井イ。ダ。ノ。ミ。ツ。ル。ツ。ツ。ノ。ガ。水得ミ。ツ。ヲ。ウ。ケ。ル。為タ。ス。地

④井

深フ。カ。ノ。ミ。ツ。ル。ホ。穿ウ。ガ。チ。ル

井ハ。水ヲ得ル為。地ヲ深ク穿チタルトコナリ。

⑤豕ウ。シ。ノ。ヒ。ト。シ。イ。ヤ。ウ。人食用モ。ノ。キ。モ。ウ。

⑤豕

供キ。ヨ。ウ。スル獸

豕ハ。人ノ食用ニ。供スル獸ナリ。

⑥ 蟻 蟻池沼川

溝等腹赤蟲

⑦ 櫂 木作船漕

具用

⑧ 燭臺 金蠟燭

立器械

⑨ 筭 鼈甲又

⑥ 蟻 蟻

蟻池沼川溝等ニ生スル腹赤キ蟲ナリ

⑦ 櫂

櫂ハ木ニテ作り船ヲ漕グニ用ユ具ナリ

⑧ 燭臺

燭臺ハ金又ハ木ニテ作り蠟燭ヲ立ル

器械ナリ

⑨ 筭

象牙等作婦

女ナ首飾

⑩ 貝 海川生ル

其種類甚

多

⑪ 鹽 竹輪纏物

洗濯器

用

筭ハ鼈甲又ハ象牙等ニテ作り婦女

ノ首飾ニ用ユ

⑩ 貝

貝ハ海川トモニ生ズルモノニシテ其

種類甚ダ多シ

⑪ 鹽

鹽ハ木ニテ竹ノ輪ヲ纏ヒタル器ニテ

洗濯スルニ用ユ

① 篩木曲底

網張米麥等

紛漉具グダウ

② 鳥居石又

木作神社ヤシロ

前建マヘタテ

③ 莞水邊

生ルシヤウ 莖細草ホソグサ

① 篩

篩ハ木ヲ曲ゲ底ニ網ヲ張り米麥等

ノ粉ヲ漉ス具ナリ

② 鳥居

鳥居ハ木又ハ石等ニテ作り神社ノ

前ニ建ルモノナリ

③ 莞

莞ハ水邊ニ生スル莖細キ草ニシテ

席シロヲ織用モノ

④ 紫陽花夏

四葩シハ花ハナ開キ

其色ソノイロ數スベテ變カハル

⑤ 蝦海河由

形異カタチハ皆ハ

足ソク八ヤツ足アシ類ヒゲ

⑥ 枝總チダス草ソウ

席ヲ織ルニ用ユ

④ 紫陽花

紫陽花ハ夏四葩ノ花ヲ開ラキ其

色數々ニ變ルモノナリ

⑤ 蝦

蝦ハ河海ニ由リテ形ヲ異ニスレドモ

皆ハ足ニシテ鬚アリ

⑥ 枝

木キ幹ミ周シ圍ウ

リグル出イ云フ

⑥ツキ榎キ喬ウ木ボク

萬マン木ボク後オシ芽ノ

出イ

⑨エ繪マ馬シ志グ願ン

佛ホト前マヘ揭カク額ガク

枝エトハ總ソウベテ草クサ木キノ幹ミヨリ周シ圍ウニ

出イルモノヲ云フ

⑥ツキ榎

榎ハ喬木ノ一ニシテ萬木ニ後オシレテ

芽ヲ出スモノナリ

⑨エ繪馬

繪馬ハ人ノ志願ノ成就シテ神佛

ノ前ニ掲クル額ナリ

③エ繪具ア赤カ黃キ

藍アイ紫ムラサキ彩サイ色シキドロ

③エ槐ハフチ葉ハ藤フツ如ゴトク

細コ花ハナ豆マメ似ニテ大オホ

③エ榮サビ螺エ海ウミ生シヤ

貝カヒ殼コク左ヒダリ旋マユリ

③エ繪具

繪具ハ赤黃藍紫等ノ彩色スルモ

ノナリ

③エ槐

槐ハ葉藤ノ如クニシテ細カク花豆ニ

似テ大ナルモノナリ

③エ榮螺

榮螺ハ海ニ生スル具ニシテ其殼左ニ

③エ榮螺

③エ榮螺

中ウチ肉ニクニ

旋リテ中ニ肉アリ。

⑤ 笛竹孔穿フエ。タケアナハツ。

⑤ 笛

ル作樂器ツクリガクキオレ。

笛ハ竹ニ孔ヲ穿チテ作リタル樂器ニ

清澄セイセイ音オント散ハツス

シテ清澄ノ音ヲ散ス。

⑤ 稗水ヒエス陸リクケタ。

⑤ 稗

ニ種ニシユテ寒郷カンキョウハ

稗ハ水陸ノ二種アリテ寒郷ノ窮民。

窮民キウミンニ米代コメカヘ

米ニ代テ食用トナス。

⑤ 鼎銅カネ鐵テツ

⑤ 鼎

鑄イサシ三足ソク即サマ銅鑪ボンロニ

鼎ハ銅又鐵ニテ鑄タル三足双耳ノ器

双耳サウジ湯沸用ユウフキヨウ

ニシテ湯ヲ沸スニ用ユ。

⑤ 家人住所イ。ヒト。ジウシヨ。

⑤ 家

總名ソウメイ柱梁チウリョウ

家ハ人ノ住所總名ニシテ柱梁桁椽

桁椽具作ケウケンキサツ

等ヲ具ヘテ作ル。

⑤ 苗稻若芽ナ。イネ。ワカメ。

⑤ 苗

苗代田移植ナシロ。タヤシ。ウエル。

苗ハ稻ノ若芽ニシテ苗代ヨリ田ニ移

稱シヨウヘナ。

シ植ルマデニ稱ナリ。

⑤ 巴トモエトモ。モキヒト。鞆繪人

記號キガウ用モ。モ。

⑤ 巴

巴ハ。鞆ヲ繪キタルモノニテ。人ノ記號ニ用ユ。

⑤ 杖ツヅキ木又竹マタタケ

⑤ 杖

等トウ作老人ツクリラウジンヨリ
步行ホカウ扶ツグ

杖ハ。木又竹等ニテ作り。老人ノ步行ヲ扶クルモノナリ。

⑤ 机ツグ書讀字シヨヨミ。ジ

⑤ 机

寫臺ワシグタイ

机ハ。木ニテ作りタルモノニテ。書ヲ讀

⑤ 慈姑水田クサキ。ミツタ

⑤ 慈姑

ミ字ヲ寫ス臺ナリ。

生シヤル草其根クサノソノコン

慈姑ハ。水田ニ生ズル草ニシテ。其根塊

塊クイ食用シヨクイヤクモノ

ハ。食用トナルナリ。

⑤ 轡鐵作馬クハ。テツ。シクリウマ

⑤ 轡

口嵌器械クハ。ハメル。キ。カイ

轡ハ。鐵ニテ作り。馬ノ口ニ嵌メル器械

ナリ。

⑤ 鰯海生イシヤミ。シヤウルデキ

⑤ 鰯

脊青魚入食

用イウクモ

⑤瓦土窯ガハツチユウ

入燻燒屋上イレフスベヤキオシヤウ

葺雨露フキウロ

⑤櫛櫛類カシハナラ

木其葉大厚キソノハオホク

鰯ハ海ニ生スル脊ノ青キ魚ニシテ人

ノ食用トナルモノナリ。

⑤瓦

瓦ハ土ニテ作り窯ニ入レテ燻ベ燒タ

ルモノニテ屋上ヲ葺キ雨露ヲ禦ク用ユ。

⑤櫛

櫛ハ櫛ニ類シタル木ニテ其葉大ニシ

テ厚キモノナリ。

⑤鋤田畑耕用クハタハタケイヨウ

⑤隨各形異ツグカガタヘ

皆鐵頭ミナテツカシラ

⑤帶多小倉織オビオホコクラオリ

博多織衣上ハカタクオリシヤウ

纏マツフ

⑤狼狗似瘦常オオカミイヌニテヤセヲシ

深山幽谷シシザン

⑤鋤

鋤ハ田畑ヲ耕ス器ニシテ其用隨各形ヲ

異ニスドモ皆鐵頭木柄ヲ箱多ルモノナリ。

⑤帶

帶ハ多ク小倉織博多織等ニテ作り

衣上ニ纏フモノナリ。

⑤狼

狼ハ狗ニ似テ瘦タル獸ニシテ常ニ深

往來ワラキ他カ。
獸類シムライ食イ害ガイヲ。

⑤ 鴛鴦ウシシユウ雌雄メス。

常池ツチイケ沼水ヌマミヅ上ウヘ游ユウ。

泳エイ羽毛ウマウ子コ艷麗エンレイ。

⑥ 竿サヲ竹タケ幹ミ總ソウ。

名ナ魚イシ釣ツリ日ヒ。

曝ササ用ボシ具テ。

山幽谷ニ往來シ他ノ獸類ヲ食シ又人ヲ害スルモノナリ。

⑤ 織物

鴛鴦ハ雌雄常ニ池沼ノ水上游泳スル鳥ニシテ其羽毛甚ダ艷麗ナリ。

⑥ 竿

竿ハ竹ノ幹ニテ作りタルモノノ總名ニテ魚ヲ釣リ又ハ物ヲ日ニ曝ス等ニ用ユルナリ。

⑤ 魚ウシ海ミ川カハ池イケ。

沼ヌマ棲スム其類ソノタビミミ皆ミナ。

尾ヲ髮ヒレ水スミ中ナカ。

游ユウ泳エイ得エ。

⑤ 牽牛花アサガハ夏ナツ秋アキ交マシ。

鮮麗センレイ朝アサ暎トク光ミツ。

暉キ受ウケ凋シユ蔓草マンサウ。

⑤ 雉キウマウ羽毛ウマウ文モン彩サイ。

⑤ 魚

魚ハ海川池沼等ニ棲ムモノニテ其類多シトイヘドモ皆尾ト鬣トニ由テ水中ニ游泳スルコトヲ得ルナリ。

⑤ 牽牛花

牽牛花ハ夏秋ノ交ニ鮮麗ナル花ヲ開キ朝暎ノ光輝ヲ受ケテ凋ム蔓草ナリ。

⑤ 雉

山イハ林ハヤシ原野ノ脚タラシ距タラシ能ヲ闘タラシ

雉ハ羽毛ノ文彩頗ル美ニシテ常ニ山林原野ニ棲ミ脚ニ距アリテ能ク闘フ鳥ナリ。

虹ニジ大陽ヒメ影カゲ水ミヅ

虹

蒸氣シヤウキ映ウツ變ハ形カタ

虹ハ大陽ノ影ノ水蒸氣ニ映リテ變リ

七色シチシキ空中クウチュウ現アハ雨アメ前後ゼンゴ

形ノ七色ヲ空中ニ現ハスモノニテ常ニ雨ノ前後ニアリ。

富士山フジノヤマ甲斐駿カハシマ

富士山

河カハ兩國ニクニ跨マカ日ヒ

富士山ハ甲斐駿河ノ兩國ニ跨リタル

本ホ第ダイ一イチ高カウ山サン四シ

日本第一ノ高山ニシテ四時白雪ヲ頂

時トキ白シラ雪ユキ頂タカ

ケリ。

紅葉コハナ總ソウ木キ

紅葉

葉ハ霜シロ被カ紅ベニ色イロ

紅葉ハ總ベテ木葉ノ霜ヲ被リテ紅色ニ變ル名ナレドモ今楓獨リ其稱

變ハ名ナ今イマ楓カエデ

ヲ擅ニス。

獨ヒトリ其ソノ稱ナリ擅ウケ

ヲ擅ニス。

藤フジ花ハナ他タ樹ジュ

藤ノ花

木モク纏繞テンニカサ蔓マン

草クサ春夏シュンナ交カウ

淡紫タンシ白色ハクシヨク開ヒラ

鼠ネズミ人家ジンカ棲カヒト

小獸セウジュウ常ツチニヨク食類ルイ

竊器物セウジエウ嚙サキ

甚シ惡ニクムベキ可キ

鶉ウツラゲン原野ヤノバ

藤ノ花ハ他ノ樹木ニ纏繞スル蔓草

ニシテ春夏ノ交淡紫又ハ白色ノ花

ヲ開ク。

鼠

鼠ハ人家ニ棲ム小獸ニシテ常ニ食

類ヲ竊ム又ハ器物ヲ嚙ル等甚ダ

惡ム可キモノナリ。

鶉

棲秋初鳴鳥其

肉甚甘美

鯰ナツカハ川池等

水藻棲頭口

甚大魚人

水吞硝子

又磁器モノ作

多オホク水飲供

鶉ハ原野ニ棲ム秋ノ初ニ鳴ク鳥ニシ

テ其肉甚ダ甘美ナリ。

鯰

鯰ハ川池等ノ水藻中ニ棲ム頭ト口ト

甚ダ大ナル魚ニシテ人ノ食用トナル

水吞

水吞硝子又ハ磁器等ニテ作りタル

モノニテ多ク水ヲ飲ム用ニ供ス。

⑤ 桃三月末

淡紅ノ花ヲ開キ

頃熟ル甘美シ

⑤ 栗梅雨中

穂垂花開

粟結成熟

房粟自裂

實地墜

⑤ 桃

桃ハ三月ノ末ニ淡紅ノ花ヲ開キ實ハ七八月頃ニ熟ス其味ヒ甘美ナリ

⑤ 栗

栗ハ梅雨中ニ穂ヲ垂レテ花ヲ開キ粟ノ結ビ成熟スレバ房粟自ラ裂テ實ヲ地ニ墜ス

⑤ 林檎春五

瓣海棠如

其實圓光澤

味甚美

⑤ 柘榴夏朱

色秋至實

熟皮自裂

數百細子

⑤ 林檎

林檎ハ春五瓣ノ花ヲ開キテ海棠ノ如ク其實圓クシテ光澤アリ味甚ダ美ナリ

⑤ 柘榴

柘榴ハ夏朱色ノ花ヲ開キ秋ニ至實熟スレバ皮自ラ裂ケ内ニ數百ノ細子アリ其味甘クシテ酸シ

⑤ 葡萄 架作

蔓纏實熟淡

紫色始終

綠色何生乾野

⑥ 枇杷 寒中

花開白色

年夏至實黃

熟味甘美

⑤ 葡萄

葡萄ハ架ヲ作リテ蔓ヲ纏ハシム實熟

スレバ淡紫色ナリ又始終綠色ナルア

リ何レモ生ニテ食ヒ乾シテ貯フベシ

⑥ 枇杷

枇杷ハ寒中ニ白色ノ花ヲ開ラキ翌年

ノ夏ニ至テ其實黃熟シテ味ヒ甚ダ

甘美ナリ

⑤ 稻 五穀

最タイ美粘粳

糯各早稻中

稻晚稻三種

人間一日欠

⑥ 草 濕氣

鬱積ル化生

種類甚多

⑤ 稻

稻ハ五穀ノ最モ美ナルモノニテ粘ナ

キヲ粳トイヒ粘アルヲ糯トイフ各早

稻中稻晚稻ノ三種アリテ人間一日モ

欠ベカラザルモノナリ

⑥ 草

草ハ濕氣ノ鬱積シテ化生スルモノニ

テ其種類甚ダ多シトイヘドモ最モ香

最王草。松茸。

香茸。香味。堪。

葱。葉圓中。

空。未。失。臭。

氣。多。頗。強。

冬。候。佳。

竈。土。塗。造。

金。鍋。茶。釜。載。

味アリテ食用ニ堪ルモノハ松茸玉茸

香茸等ナリ。

葱

葱ハ葉圓ク中空シク未失リタル草ニ

テ臭氣頗ル強シ其味冬ノ候最モ佳

ナリ。

竈

竈ハ土ニテ塗り造リタルモノニシテ。

飲食。モノ。煮。

所。

膳。食器。

排。盤。

猫。足。銀。杏。足。

漆。塗。

墨。油。烟。膠。

製。文。字。

金鍋茶釜等ヲ載セテ飲食ヲ煮ル

所ナリ。

膳

膳ハ食器ヲ排ブル盤ノ名ニシテ蝶

足猫足銀杏足等ノ別アレドモ皆木

ニテ作り漆ヲ塗りタルモノナリ。

墨

墨ハ油烟ニ膠ヲアハセ製シタルモノ

書又画寫用

供キツフ

⑤ 紙楮構皮カミ。カワ。ツカチ。カハ。

剥ヒキ細碎黃蜀コアカクキト

發根汁ロ。子。ジル。マシ。ハ。ス。雜抄ス。

⑥ 硯墨磨器スリ。スミ。スル。キ。

石以種イシ。モツ。シ。ユ。ニ。エ々イロ。イロ。

ニテ。字ヲ書シ。又画ヲ寫ス用ニ供ス
ルモノナリ。

⑤ 紙

紙ハ楮又ハ構等ノ皮ヲ剥キテ。細カニ
碎キ。黃蜀發根汁ヲ雜ヘテ。抄キタ
ルモノナリ。

⑥ 硯

硯ハ墨ヲ磨ル器ニシテ。石ヲ以テ種々

形作深淺海

岡ヲカ。

⑤ 鏡銅鑄造カミ。ド。ウ。イ。ツクル。

水銀スリ。ヒカリ。ハツ塗光發ス。ギン。

其狀大小方

圓皆形照シカ。マル。ミ。ナ。カク。チ。テ。ス。

⑤ 琴桐臺絃コト。キリ。ダイ。ウ。ル。

樂器六絃和ガク。キ。ロク。ケン。ヤマト

ノ形ニ作ル。其深キトコロヲ海トイヒ。
淺キトコロヲ岡トイフ。

⑤ 鏡

鏡ハ銅ニテ鑄造リ。コレニ水銀シヤリ
ヲ塗リ。光ヲ發セシムルモノニシテ。其形大
小方圓種々アレドモ。皆形ヲ照スニ用ユ。

⑤ 琴

琴ハ桐ノ臺ニ絃ヲカケタル。樂器ニシテ。

琴七絃十三絃

第二十五絃瑟

磁石方角

鐵針ハ石頭

磨本端尾南

北指何違フ

寒暖計硝子

六絃ナルヲ和琴トイヒ七絃ヲ琴トイヒ十三絃ヲ箏トイヒ二十五絃ヲ瑟ト云フ

磁石

磁石ハ方角ヲハカルタメ鐵針ノ端ヲ

石ノ頭ニテ磨リ其本ヲ尾ニテ磨レ

バ本ハ南ヲ指シ端ハ北ヲ指シテ何

レノトユロニテモ違フコトナシ

寒暖計

管水銀ミツ燒

耐昇降寒暑

度計器

下駄多桐

臺檨櫛齒箱

作高足駄名

深靴雨中

用供フ

寒暖計ハ硝子管ニ水銀又ハ燒酎盛

リ其昇降ニヨリテ寒暑ノ度ヲ計ル

器ナリ

下駄

下駄ハ多ク桐臺檨又ハ櫛等ノ齒

ヲ箱ノテ作ルモノニテ其齒ノ高キ

モノヲ足駄ト名ケ深靴トトモニ雨

中ノ用ニ供ス

⑤浴衣ニカダモノ木綿キモノ

裁製サイサイセル衣キモノ

浴ヨク後ノチ身シン

体タイ拭ヌグフ着キル

⑤夜具ヤグフ布帛フハク

類レイ綿ワタ夾裁製キヤサイサイ

夜着シヨ抱卷ヨギ蒲マキ

團卧褥トシキアトシシヤ總稱トシキ

⑤浴衣

浴衣ハ木綿ニテ裁製セル衣ニテ浴

シタル後身体ヲ拭フタノ着ルモノ

ナリ。

⑤夜具

夜具ハ布帛ノ類ニ綿ヲ夾レテ裁

製シタルモノニテ夜着抱卷蒲團

卧褥等ノ總稱ナリ。

⑤頭巾ツキン布帛フハク

縫作ヌイ頭ツキン

被物キモノ男女ナンナ

僧尼ソウニ異イ

⑤蟬形セミカタ聲異コエヲエトル

隨夏シツカヒナツ蟬セミ

寒蟬カンセミ馬蟬バセミ別ベツ

土中ドチウ皮蛻カハセリ

⑤頭巾

頭巾ハ布帛ニテ縫作り頭ニ被ル物ニ

テ男女僧尼人ニ隨フテ各其形異

ニス

⑤蟬

蟬ハ其形又ハ聲ノ異ナルニ隨ヒ夏蟬

秋蟬馬蟬寒蟬等ノ別アレドモ土中

中ヨリ出テ皮ヲ蛻シテ飛ブ蟲ナリ。

⑤ 蜻蛉水蠶

羽化種類

青緑ヲ大

紅黃白胡黎

蜂品類

多蜜釀人

用供子蜜

蜂黃虵似瘡

⑤ 蜻蛉

蜻蛉ハ水蠶ノ羽化セルモノニテ其種類

甚ダ多シ大ニシテ青緑ナルヲ蜻蛉ト

イヒ小ニシテ紅黃ナルヲ胡黎トイフ

⑤ 蜂

蜂ハ品類多シトイヘドモ蜜ヲ釀シ

テ人用ニ供スルヲ蜜蜂トイフ其形黃

虵ニ似テ瘡セタルモノナリ

⑤ 蝶諸毛蟲

羽化種

類大抵花

芳香ヒ慕飛

⑤ 蛙蝌蚪漸

漸ニ尾脱テ手

足生ル水中

常棲聒鳴

⑤ 蝶

蝶ハ諸ノ毛蟲ノ羽化シタルモノニテ

其種類甚ダ多シ大抵花ノ芳香ヲ

慕フテ飛ブモノナリ

⑤ 蛙

蛙ハ蝌蚪ノ漸々尾ヲ脱シテ手足ヲ

生ジタルモノニテ常ニ水中ニ棲ニ聒

ク鳴クモノナリ

七
解

蟹ハ蝦ト類ヲ同クシテ形ノ異ナルモノ

ナリ。其品種甚々多ク。海ニ産スルヲ蠟

蛭トイヒ其甲横ニ濶ク。左右ニ各一

刺アリテ。食用ニ供ス。

半梅

梅ハ寒中ヨリ春ニ跨テ清香鮮潔ノ

花ヲ開ラキ。實ハ梅雨中ニ至テ。黄熟ス。

スルモノナリ。

全櫻

櫻ハ皇國ノ名花ニシテ多ク歌ニ詠ジ

繪ニ畫クモノナリ。又花ニ單瓣重瓣等。

種々アリテ其類二百餘品ニ至ル。

③
牡丹

牡丹。二十日草卜稱。其花芍藥。

似テ大ナルモノナリ。春ノ末ニ紅白

アサギサキ花開

大。人。賞。エル。

⑤ 菊。夏秋冬。

別。秋。末。咲。最。

大。抵。黄。白。

紫。紅。四。種。出。

⑥ 水仙。中古。

雪。中。花。稱。花。

紫等ノ花ヲ開ラキテ。大ニ人ニ賞

セラル。

⑤ 菊

菊ハ。夏秋冬ノ別アレドモ。秋末ニ咲

クモノヲ最トス。其種類多シトイヘドモ。

大抵黄白紅紫ノ四種ニ出デス。

⑥ 水仙

水仙ハ。中古雪中花ト稱ヘ。花六瓣ニ

六。瓣。葉。四。枚。

一。科。芳。草。寒。中。

芬。芳。清。潔。

⑤ 鶴。其。種。類。

白。頂。赤。丹。頂。

頸。鵠。鷄。深。

山。高。樹。棲。

餌。池。沼。河。邊。

シテ。葉四枚一科ヲナシタル草ニテ。

寒中ニ芬芳清潔ノ花ヲ開クモノ

ナリ。

⑤ 鶴

鶴ハ。其種類甚ダ多シ。白クシテ頂赤

キヲ。丹頂トイヒ。又頸肩白クシテ。額

頰赤キヲ。鷄雞トイフ。皆深山ノ高樹

ニ棲ミテ。餌ヲ池沼河邊ニ求ムルモ

イケヌ。マカク。求。

⑤ 雁秋來春歸

鳥直雁白雁鴻

等品類脚頸

短蹠水中自由

游泳

⑥ 鷄頭赤冠

戴脚距性

ノナリ。

⑤ 雁

雁ハ秋來テ春歸ル鳥ニテ。直雁。白雁。

鴻等。其品類甚タ多シ。皆脚ハ頸ヨ

リ短ク。蹠アリテ自由ニ水中ヨ游泳

スルモノナリ。

⑥ 鷄

鷄ハ頭ニ赤冠ヲ戴キ。脚ニ距アリテ。

闘好ス毎晨

トキ報ス差卵滋

養功畜養

⑦ 鷹類俗四

十鷹稱多類

珍總顔面勇

威マシカ強嘴爪

鋭利他鳥捕

性闘ヲ好ム鳥ナレドモ毎ニ晨ヲ報シ

テ差ヘズ且ツ其卵ハ最モ滋養ノ功

アルヲ以テ人家ニ畜養セラル

⑦ 鷹鳥

鷹ノ類ヲ俗ニ四十八鷹ト稱スルハ。

多類ヨイフナリ。總ベテ顔面勇威ア

リテカ強ク嘴爪鋭利ニシテ他鳥ヲ

捕食ス。故ニ之ヲ養テ。遊獵ノ用ニ供

食シヨク故コ養ヤウ遊ユウ獵リョク

スルコトアリ。

⑨燕セン春シュン分フン此コノ

⑩燕セン

地チ來キ人ニ家カ入イル

燕ハ春分ノ地ニ來リ。人家ニ入リ。梁

巢ス結ヒ雛ヒナ育イク秋アキ

析ニ巢ヲ結ビ。雛ヲ育シ。秋ニ至リテ。

至イ暖ヌクシ地チ歸カヘ大オホ

暖地ニ歸ル。又大燕アリ。其胸常ニ燕

燕セン胸ムネ紫ムラサキ色イロ班ハヤシ文モン

ノ如ク。紫色ナラスシテ。班文アリ。

⑪鶯ウ鶯ウ數スベテ林ヤブ

⑫鶯ウ

巢ス營イテ諸モロモロ小コ蟲ムシ

鶯ハ數林ニ巢ヲ營ミ。諸ノ小蟲ヲ

食シヨク鳥トウ立リツ春シユン候コウ

食フ鳥ニシテ。立春ノ候ヨリ。花樹烟

花ハナ樹ジュ烟エン霞カ

霞ノ中ニ囀ル。其聲ノ清亮ナル。實ニ

中ナカ囀セウ聲セイ清セイ亮リョウ

唱類中ニ冠タリ。

實サツ唱シヤウ類ルイ中チュウ

冠カウ

⑬牛ウシ六ロク畜コク

⑭牛ウシ

最モト功コウ用ユウ多タ

牛ハ六畜中最モ功用多キモノニテ。

牽ケン馱ダ肉ニク乳ミルク

惟牽馱ノ用アルノミナラス。肉ト乳汁

汁シユ人ニ食シ用ユウ

トハ。人ノ食用ニ宜シク。且ツ養ヒトナ

宜且ヨロシカツマタヤシキカ養皮ニ

革製ツリカセ角骨ツノホチ

彫刻テウヨク用ホリチノイマフ

猫子コ姦邪カンジャ子子

讒佞ザンテイ馴ヒトガイ

用フナ僅捕功トコフコ

姦智カンチ竊セツ

盜トウ巧コウ巧ウス

リ皮ハ革ニ製ス可ク。角ト骨トハ彫刻ノ用ニ充ツ可シ。

猫

猫ハ姦邪讒佞ナル人ノ馴養スル小獸ニシテ。僅ニ鼠ヲ捕フルノ功アリトイヘドモ。其性最モ姦智多クシテ。甚ダ竊盜ニ巧ナリ。

猿サル四手シテ攫クハク

拏ジョ搔抓サウワウ自ジ

在ガイ常山ジョウサン中チュウ

棲巧シキウ樹木降ジュモクカウ

昇シヤウ又養能マタノイハレヨリ

踏舞トウブマフ

兔ウサギ山中サンチュウ一尺イチシツ

餘小獸アタリセウジチウ前足マヘアシ

猿

猿ハ四手ニ利爪ヲ具ヘ。攫拏搔抓。甚ダ自在ナルモノニテ。常ニ山中ニ棲ミ。巧ニ樹木ヲ降昇ス。又夕人ニ養ハレテ。能ク踏舞等ノ技藝ヲナスモノナリ。

兔

兔ハ山中ニ棲ム。一尺餘ノ小獸ナリ。

後足短長上唇

缺兩耳ツ家畜

種類異熟兔

熊寒國深

山棲全身

純黒猛獸

往々人害

熊膽イ稱ク健

前足短クシテ後足長ク上唇缺テ兩

耳長シ又家ニ畜フトコロノモノハ種

類異ニシテ熟兔ト云フ

熊

熊ハ寒國ノ深山ニ棲ム全身純黒ノ

猛獸ニシテ往々人ヲ害ス又々其膽

ハ熊膽ト稱シ健胃ノ効アルヲ以テ

藥用ニ供ス

胃井効藥用リ供フ

猪山林棲

猛獸夏秋際

蚊畏故草聚

廬如作夜其

中入臥世臥

猪床

狐山林人家

猪

猪ハ山林ニ棲ム猛獸ナレドモ夏秋ノ

際甚ダ蚊ヲ畏ル故ニ草ヲ聚メテ廬

ノ如キモノヲ作り夜其中ニ入テ臥ス

世コレヲ臥猪ノ床ト云フ

狐

近穴居チカキヨアノ却深サシ
 山ヤマ棲夜或晝スミヨフルハチウ
 間々人ヒト虚ヒト窺カサネ
 雞鷺トリ竊去其性スギ
 狸虎狸猫狸ヌルカウカウ
 數種スミ頭瘦狐カシラヤセキツ
 如圓猫似皆同ゴトシマカサノルニミナオホシ

狐ハ人家ニ近キ山林ニ穴居シ却テ深山ニ棲マザル獸ナリ。夜間人ノ虚ヲ窺ヒ雞鷺等ヲ竊ミ去ル其性頗ル狡猾ナリ。

⑤ 狸
 狸ハ虎狸猫狸等ノ數種アリテ虎狸ハ頭瘦セテ狐ノ如ク猫狸ハ頭圓クシ

其性シヤセマハ狡黠カウカウ
 ⑥ 鯛海魚最タヒウミイサナモトモ上品シヤウビン我國古コ來ライ慶賀ケイガ盛セイ享キヤウ必カナラシ用ヨウフフ魚イサナ
 故名冒ナヲカリ魚ウヲ
 八十餘品ハチジュヒンヨシナ

テ猫ニ似タリ何レモ皆狐ト同ク其性狡黠ナルモノナリ

⑦ 鯛
 鯛ハ海魚ノ最モ上品ナルモノナリ我國ニテハ古來慶賀盛享必ズコレヲ用テ故ニ鯛ノ名ヲ冒ス魚八十餘品ニ至レドモ皆別類ニシテ形味共ニ異ナルナリ。

① 鯉コイ淡水産サンルデキ。

最上モトモト品シヤ魚ウヲ。

猶ナホ鯛タイノシヤ鹹水ミツ於オケ。

大オホ三ヒサ四シ尺ツ至マデ又マタ。

紫シロ鯉ヒ白サ鯉ヒ緋ヒ鯉ヒ。

數種スシユイミ皆ミナ形カタ似ナリ。

名ナ冒ヲカス。

② 鯉

鯉ハ淡水ニ産スル最上ノ魚ナル

コト。猶鯛ノ鹹水ニ於ケルガゴトク其

大ナルハ三四尺ニ至ルモノアリ。又紫

鯉白鯉緋鯉等數種アレドモ皆ナ形

ノ似タルヲ以テ名ヲ冒スモノナリ。